

設定テーマ『SDGs』について

1. SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17の目標（ゴール）・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

2. 演目発表について

本年度も当アワード設定テーマは『SDGs（エスディーゼーズ）』です。その「SDGs」が掲げる17の目標（下の《SDGs目標一覧》参照）から一つを選択して、その目標を演目（タイトル）にした独自のシナリオによるパフォーマンスを披露してもらいます。 ※予選（映像審査）と本戦（ライブ審査）とで、別の目標に変更して演目（タイトル）としても構いません。

《SDGs目標一覧》

1 「貧困をなくそう」

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。

2 「飢餓をゼロに」

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。

3 「すべての人に健康と福祉を」

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

4 「質の高い教育をみんなに」

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

5 「ジェンダー平等を実現しよう」

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。

6 「安全な水とトイレを世界中に」

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

7 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。

8 「働きがいも経済成長も」

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。

9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

10 「人や国の不平等をなくそう」

各国内及び各国間の不平等を是正する。

11 「住み続けられるまちづくりを」

包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

12 「つくる責任 つかう責任」

持続可能な生産消費形態を確保する。

13 「気候変動に具体的な対策を」

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

14 「海の豊かさを守ろう」

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。

15 「陸の豊かさを守ろう」

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

16 「平和と公正をすべての人に」

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。

17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

《ターゲットについて》

17目標（ゴール）の中には169のターゲットが設けられています。ターゲットは、まさに世界が「こうなりたい」という具体的な手段や方法が書かれているので表現のヒントになると思います。

ターゲットは農林水産省HPで閲覧可能！

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sdgs/sdgs_target.html



静書パワード実行委員会
事務局担当：寺田大悟
直通：090-6463-9100
E-mail：info@s-shopa.com